

2024年 4月25日

GOOP トリプルカード みやぎスマイル基金 助成活動報告書

団体・学校名	東北大学たなぼた
連絡先	(電話) (FAX) (e-mail) tanabotatohoku6@gmail.com (ホームページ)

1. 助成事業報告

事業名	東日本大震災の被災地におけるコミュニティ復活の支援
目的	復興住宅では、震災前にあった地域や世代間のつながりが失われることが多く、新たなコミュニティや近隣住民との信頼関係を築くことが難しい。コロナ禍によっても、孤独を感じる住民が増えたように感じている。弊団体では、住民同士の顔見知りの関係を広げ、健康状態などについて互いに声を掛け合えるような環境を作り、住民が生き甲斐を見つけて豊かな人生を送れるようにすることを目的として活動した。 自治会の住民が運営する地域行事について、従来は自治会に参加する高齢者のみが参加し、幅広い層の人々が参加できていないケースが見られた。弊団体では、地域ぐるみで様々な年代や社会的立場の人が交流できる場を設け、住民がより居心地の良い生活を送れるようにすることを目指した。特に荒井東地区では、子ども会との協力を通じて高齢者と子どもをつなぐ架け橋となり、コミュニティをさらに拡大することを目的とした。 また、弊団体の活動により、学生が継続してボランティア活動を行える場を形成することも目標とした。学生が住民から聞いた震災経験を伝承する役割を担ったり、学生同士で意見交換を行うことで対話や傾聴の価値を実感したりすることを目指した。
実施内容	○若林区大和町での活動

大和町市営住宅での活動では、季節の工作や折り紙、脳トレクイズ、体操などを行い、住民の方との交流を深めた。特に、昨年度から開始した七夕飾り作りの活動は、完成して敷地内に飾ることができ住民の方から好評だった。活動を通じて、住民の方同士のつながりを深められただけでなく、住民さんと学生との交流の機会が得られ、世代間交流の場にもなり、コミュニティの輪の拡大に貢献できたと感じる。

・開催日、参加人数(たなぼた含む)、内容等

4月23日 33名 七夕飾り作り、体操・クイズ

5月28日 30名 七夕飾り作り、リズム体操・クイズ

6月18日 26名 七夕飾り作り、バトンパスリレー

7月9日 28名 七夕飾り作り

8月6日 34名(体験会参加の高校生含む) クイズ、メッセージカード作り

9月24日 16名 脳トレクイズ、うちわ作り

10月15日 25名 体操、お菓子の掴み取り、折り紙

10月22日 15名 寄せ植え、花壇作り

11月12日 20名 絵はがき作り

12月17日 24名 クリスマス会、クリスマスツリー作り

2月18日 25名 ひな飾り作り、体操

3月17日 20名 体操、お守り作り、地震対策の共有

○蛇田地区での活動

石巻あゆみ野地区での活動では、主に工作とクイズを行っている。12月には色画用紙でクリスマスカードを作るなど季節に合わせたものや、しおりやボックスのような普段の生活で使って貰えるものを作っている。また、漢字の穴埋めパズルなどの脳トレクイズと一緒に解いたり、防災や風邪予防など日常生活で役立つ知識をクイズ形式で紹介したりしている。住民さんと雑談しながらこれらの活動に取り組むことで、交流を深めている。

4月29日 25名 折り紙ブーケ作り、脳トレクイズ

5月27日 21名 カエル飛ばし競争・トントン相撲、脳トレクイズ

7月2日 20名 七夕飾り、脳トレクイズ

8月20日 19名 花火大会手伝い

9月10日 20名 お守りづくり、脳トレクイズ

	10月22日 18名 ハロウィン工作、脳トレクイズ
	11月25日 17名 しおりづくり、脳トレクイズ
	12月10日 20名 クリスマスカード作り、脳トレ・防犯クイズ
	2月18日 18名 あみかご作り、脳トレ・健康クイズ
	3月24日 17名 花束工作、脳トレ・防災クイズ
	○荒井東地区での活動 荒井東地区での活動では、東北大学ボランティアサークルの SCRUM さんと合同で活動をしている。 荒井東地区での活動では、2021 年度から活動させていただいていたが、2022 年度から本格的に荒井東市営住宅の集会所にて工作などの企画を持ち込み活動をさせていただいている。学生主催のサロンと住民主催の行事・合同企画を半々にして活動を行った。学生主催のサロンでは、「あらいのおへや」と題して、工作も一部の方には好評だが、花火大会やスマホ教室、芋煮会などの実利的な企画の方がたくさんの方が集まり好評だった。住民主催の花壇整備、秋祭り、避難訓練では、高齢の方の代わりに学生の力を貸すことができた。クリスマス会は町内会や子ども会とともに打ち合わせを重ね活動を実施し子ども、学生、大人の世代交流を行うことができた。活動を通じて住民さんと日常の様子を話したりして交流を深めた。「お頼み BOX」という目安箱の設置により、スマホの使い方を教えてほしいといった住民の方のニーズを知ることができた。しかし、2 月以降の活動では参加者が減少し、広報や企画内容の改善が必要だと言うことが明らかになった。
	4月5日 19名 町内会のお茶会への参加、方針決め
	5月28日 24名 あらいのおへや（花壇作り、足湯）
	6月25日 21名 広場の花壇整備
	7月2日 20名 緑化フェア手伝い
	7月17日 26名 あらいのおへや（うちわ作り）
	8月20日 20名 あらいのおへや（夏祭り）
	9月24日 12名 荒井東町内会主催秋まつり
	9月30日 21名 あらいのおへや（たからさがし）
	10月15日 19名 町内会の防災訓練
	11月3日 29名 あらいのおへや（芋煮会、お頼み個別相談）

	会) 12月17日 42名 クリスマス会 2月24日 24名 あらいのおへや (トントン相撲、雪合戦、ゲートボール) 3月16日 14名 あらいのおへや (ちぎり絵、モルック) 3月28日 9名 あらいのおへや (体操、卓球、ボードゲーム)
開始から終了までの流れ	各地域での活動では、まず会場となる集会所で机や椅子の設置および消毒などの会場準備を行い、住民さん方が集まり次第、検温や体調確認を行った。 始めに住民さんに対して学生の自己紹介を行い、工作やクイズ、体操などの活動を行った。活動は約2時間ほどで、終了次第会場の片付けを行った。足腰が悪い方に対しては、自宅前まで迎えに行き、帰りは送るなどのサポートも行った。
活動の成果と教訓	・成果 コロナ禍が次第に落ち着き、定期的に活動を行うことができた。工作やクイズ、体操などを行うことで住民の方の体や心の健康の維持、向上に貢献できたと思われる。活動の中で、防災や健康に関するような生活に役立つ知識を学べるように工夫できた。また、荒井東地区でのクリスマス会のように、町内会との合同イベントでは多くの幅広い年代の人々に参加してもらい、住民同士の交流の一助になれたと自負している。さらには、荒井東地区にて「お頼みBOX」を設置し、住民個人の多様な要望に寄り添えるよう尽力した。 そして、昨年度に比べて活動回数が増加し、交流機会をより多く作ることができたと感じている。自主財源が限られる中でこのように活動できたのは、貴団体の助成金によるところが非常に大きいです。心より感謝申し上げます。 ・教訓 参加者の顔ぶれが固定化されてしまっていて新規参加者をあまり呼び込めなかったことが課題としてあげられる。荒井東地区では、学生主催の活動への参加者が年明けに減少してしまった。したがって、参加のきっかけを作るために大きめの企画を行ったり、住宅側や子ども会側の需要を聴く機会を

	積極的に持ったりすることが必要だと感じた。また、ポスターの設置場所や作り方など広報の面からも改善していきたいと思う。さらには、どのような学生が参加しているかなどを幅広い層の住民の方にもっと知っていただけるようにして、活動に親しみを感じ参加してもらえるようにしていきたい。
今後の展望など	コミュニティ形成において、それぞれの活動地域に毎月訪れて定期的に活動し交流を広めることが重要なこととして考えられるが、前年度はコロナ禍の影響で活動が中止になることや、活動内容が制限されることがあった。しかし、コロナ禍が終わり制限が緩和されてきたため、これからは色々な企画を考案して、より幅広い活動を行い、交流を深めていきたい。特に、一緒に食事を作ったり一緒に食べたりすることや、足湯を通したコミュニケーションといった、日頃の生活にはない刺激によって、住民さんも学生もより楽しめる企画を行っていききたいと考える。 また、荒井東地区では、住民さんの要望を直接聞くための‘お頼み BOX’を設置し、直接要望や相談に応じ、助けになることができた。今後もそういった対応を各イベントと並行して行っていき、住民さんのニーズに応じていきたい。また、これまでの活動では、高齢者の方だけでなく子供たちもたくさん参加したが、世代間の交流まではあまり広がらなかった。今後は、幅広い世代が楽しめる企画などの、世代間の交流を活発にするための活動を行っていききたい。 さらに、荒井東だけでなく大和町やあゆみ野の活動においても、今あるコミュニティをこれからも保ち続けていくことが重要である。今は、継続して参加していただいている住民さんは多いが、新しい参加者は少ない状態にある。このままではコミュニティがいつか途切れてしまうため、イベント等の宣伝を活発に行い、新規の参加者を獲得することに重点を置いていきたい。特に、クリスマス会や夏祭りといった規模が大きいイベントでは、普段活動に参加しない方々も多く来られるため、そこから新規の参加者獲得に繋がる努力をしていきたい。

2. 助成金使途報告書

(1) 収入の部（助成の対象となった事業の分のみ）

確保した資金内容	金額（円）	備考
----------	-------	----

みやぎスマイル基金	300,000	
合計	300,000	

(2) 支出の部 (助成の対象となった事業の分のみ)

費目	内容	予算額	実支出額	助成金からの支出額	領収書 №
交 通 費 (地 下 鉄)	仙台市営地下鉄使用時の交通費	128,000	49,930	45160	別途記載
交 通 費 (高 速 バ ス)	宮城交通高速バス イオンモール石巻 前～仙台駅前間の 交通費	75,000	65,450	65,450	別途記載
交通費 (JR)	JR 仙台駅～石巻 あゆみ野間の交通 費	75,000	70,840	70,840	別途記載
消耗品費 (食 品 を 含む)	工作の材料代		18,388	18,388	別途記載
	食品、景品等		19,048	19,048	別途記載

	合計	10,000	37,436	37,436	別途記載
印刷費 (サロン活動で使用するクイズやチラシ)		10,000	18,716	13,596	別途記載
送付費		2,000	3,136	2,056	別途記載
手数料			550		
返金	スマイル基金の内使用しなかった返却分		65,462	65,462	
合計		300,000	311,520	300,000	

* 用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

* 収入の合計と支出の合計が一致していることをご確認ください。

たなぼた 2023年度活動記録



ぼたちゃん

仙台市大和町・石巻あゆみ野での活動

団体紹介

○たなぼたとは
2016年に東北大学の学生によって立ち上げられたボランティアサークル

主に3つの地域で活動
①仙台市若林区大和町
②石巻市蛇田地区(あゆみ野)
③仙台市若林区荒井(荒井東)

それぞれの地域で月1回活動



活動目的

- コミュニティ形成の支援
住民同士の顔見知りの関係拡大
助け合いができる環境づくり
世代間交流
- 地域イベントの運営のお手伝い
高齢化に伴う人手不足の解消
地域間交流の促進
- 居場所を作る
生きがい、リフレッシュの場
コミュニケーションを通した学生と住民さん間での交流



高校生と住民さんの交流

活動成果

計38回(2023. 4~2024. 3)の活動を実施

<活動内容>

- ・サロン活動
→工作、体操、脳トレ
- ・イベントのお手伝い
→お祭りの運営、クリスマス会の開催



たなぼた
公式ゆるキャラ
「ぼたちゃん」

仙台市大和町での活動



脳トレクイズや工作・七夕飾り作りのお手伝いを中心に行いました！



七夕飾り作り
のお手伝い



工作・季節の
イベント



石巻あゆみ野での活動



ハロウィンやクリスマス、ひな祭りなどの季節
の工作や脳トレクイズなどを行いました！



季節の工作



ハロウィン工作



荒井東での活動



荒井東秋祭り



クリスマス会

